

経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県 唐津市

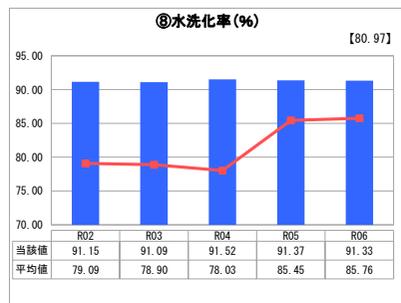
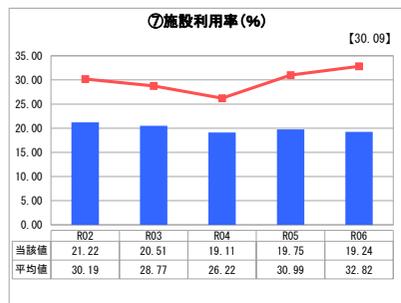
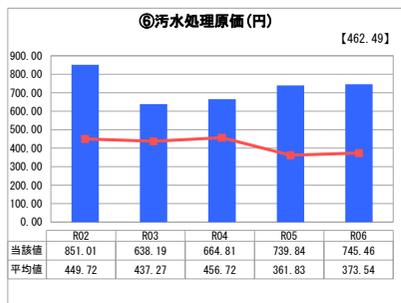
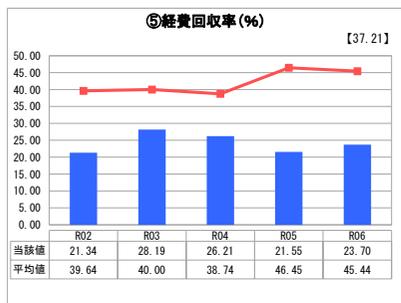
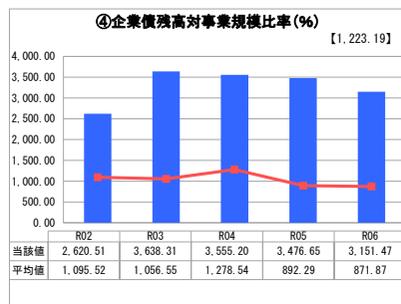
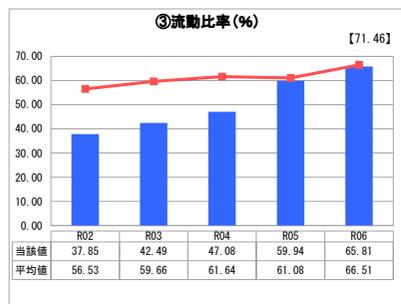
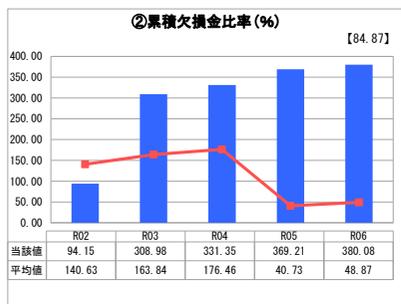
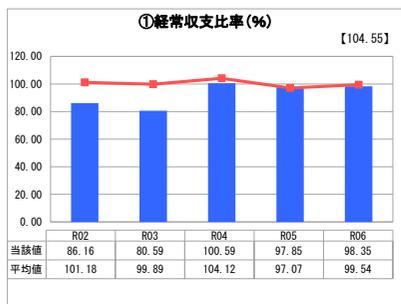
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.61	2.12	104.84	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
113,890	487.58	233.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,398	2.31	1,038.10

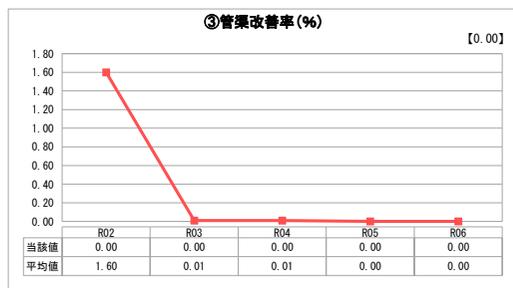
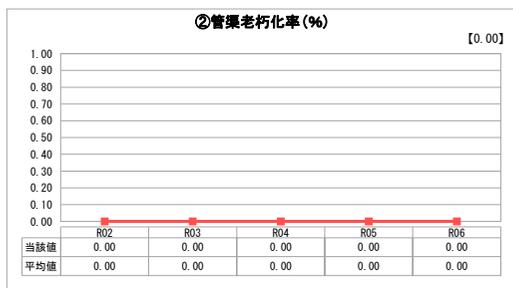
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率について、維持管理費の減により前年度を上回ったものの、依然として100%を下回っている。
- ②累積欠損比率については、経常収益の減により、昨年より悪化している。他の類似団体の平均値と比較しても約9倍となっている。
- ③流動比率について、企業債借入の減により昨年よりも数値が上昇しているが、資本費平準化債の借入により企業債元金償還金が減少しておらず、平均値を下回っている。
- ④企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入上限額を償還元金より低く設定し現在高の減少に努めているが、資本費平準化債の借入により現在高の減少が緩やかになっているため、類似団体と比べ非常に高い数値を推移している。
- ⑤使用料の増により前年度に比べ改善したものの、前年度は使用料減免により数値が下がっているため、使用料は減少傾向にある。物価上昇などによる維持管理費の増により、依然として類似団体と比べ低くなっている。
- ⑥維持管理費の増により、前年度に比べ悪化している。
- ⑦処理水量の減少により、前年度に比べ悪化している。
- ⑧水洗化率について、水洗化済人口の減少率が処理区域内人口の減少率を上回ったため、前年度に比べ悪化している。今後も100%を目指し推進を図る。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、企業会計移行からまだ5年程しか経過していないため、平均値を下回っている。
- ②管渠老朽化率は、法定耐用年数(50年)を経過している管渠はない。
- ③管渠改善率は、老朽管がないため更新等は行っていない。今後は、「唐津市農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、施設の老朽化対策を計画的に進めることとしている。

全体総括

経常収支比率・流動比率・経費回収率・施設利用率は類似団体の平均を下回っている。また累積欠損比率・企業債残高対事業規模比率・汚水処理減価は平均を上回っており、企業債と繰入金に頼っている状況であり、健全な経営状況とは言えない。今後も人口減少などによる使用料収入の減少、施設の老朽化による費用の増加が見込まれるため、長寿命化工事、施設更新時のダウンサイジング等を行いながら、料金改定についても検討しておく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。